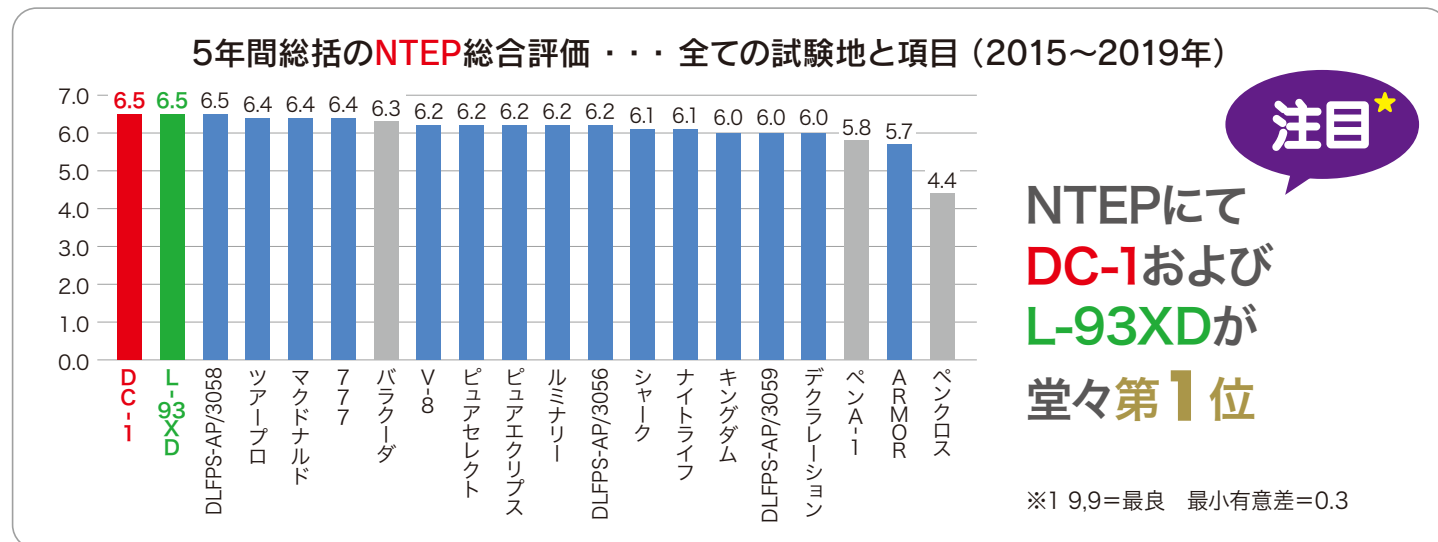
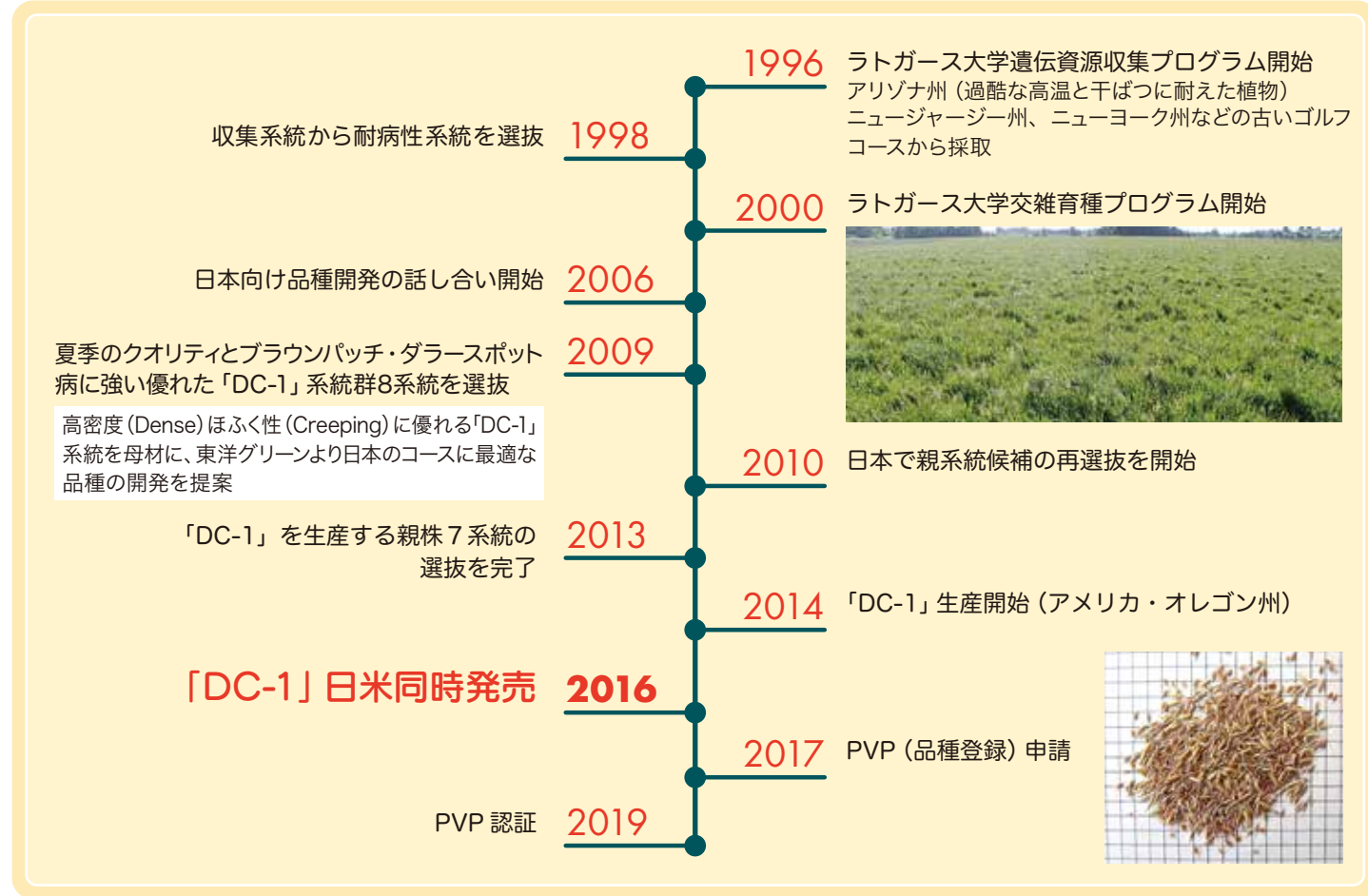


日本のゴルフコースの要望から生まれた優良品種 DC-1 ができるまで



日米共同開発

グリーンクオリティの頂点へ



耐暑性

高品質

〈荷 姿〉11.25kg（ペール缶入り）

日本のゴルフコースに最適化した新品种

特長 **D** 高密度（Dense） **C** ほふく性（Creeping） ナンバー **1** !! ※当社比

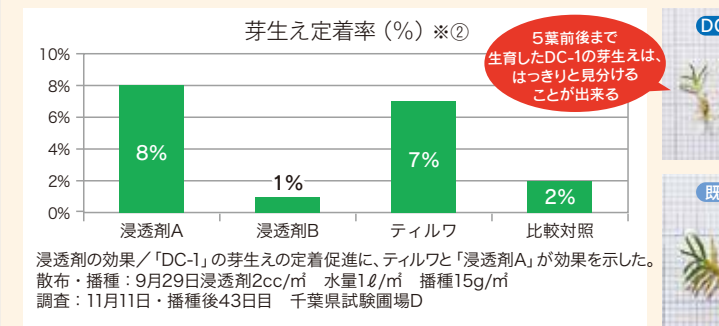
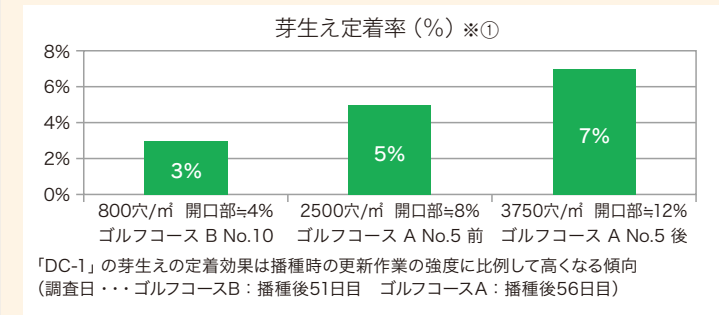
1. インターシードに最適 ▶ 発芽と発芽初期の生育に優れる
2. 一年を通じて安定した芝生緑度とキメ細かさ ▶ 高いターフクオリティ
3. 日本特有の高温多湿の気候に適応 ▶ 暑さに強い
4. 高温条件下のほふく性に優れる ▶ 優れた回復力
5. ダラスポット病とブラウンパッチ（葉腐病）に強い ▶ 病気に強い
6. 寒さに負けない緑のターフ ▶ アントシアンが出にくい

世界初 日米共同開発の品種

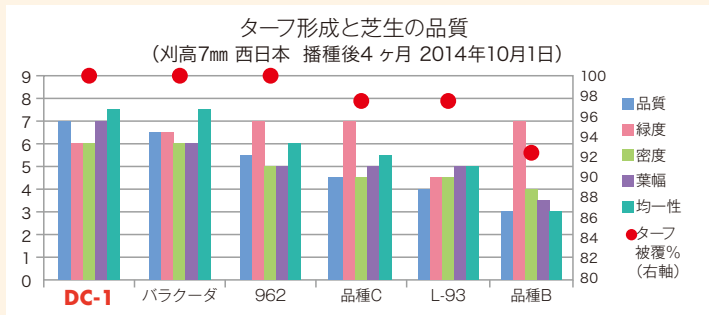
『DC-1』（ディーシーワン）は世界初となる、日米で共同開発されたクリーピングベントグラスの品種です。今までは、アメリカで開発された品種から日本に適するものを選んで導入したもの、あるいは日本で開発した品種をアメリカで生産し導入したものはありました。『DC-1』は、これまでの手法とは異なり、世界で初めて東洋グリーンがラトガース大学と共同で日本のゴルフコースの要望を取り入れて開発した品種です。

1 インターシードに最適〈発芽と発芽初期の生育に優れる〉

定着効果の比較（播種時の更新作業・浸透剤）



「DC-1」はターフ形成が早い

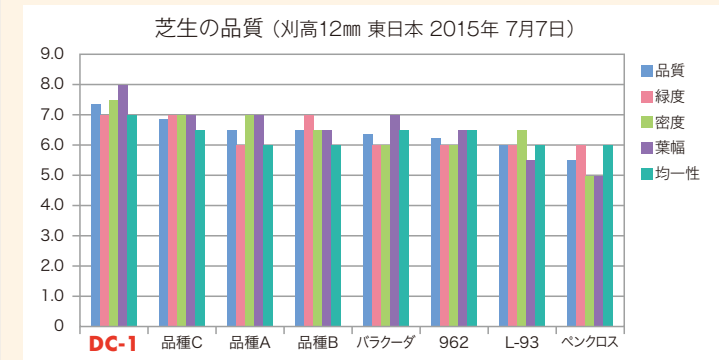


播種前更新作業（2015年9月）

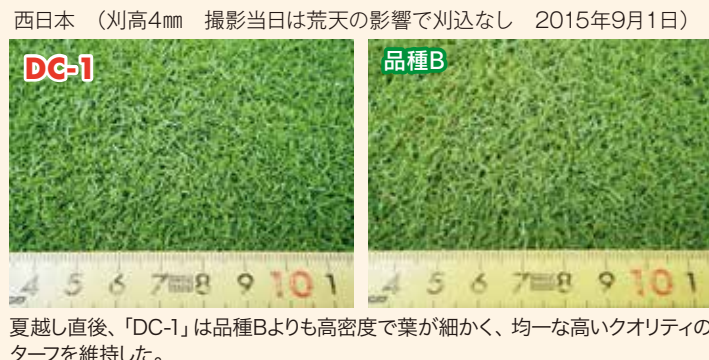


2 1年を通じて安定した芝生緑度とキメ細かさ〈高いターフクオリティ〉

「DC-1」の基本的特性は、密度が高くキメ細かな葉

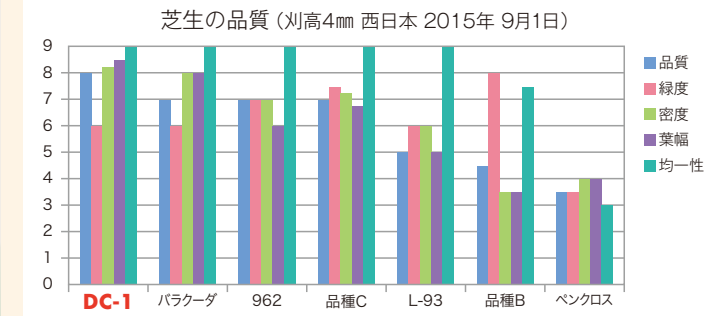


暑さに晒されたターフも高密度

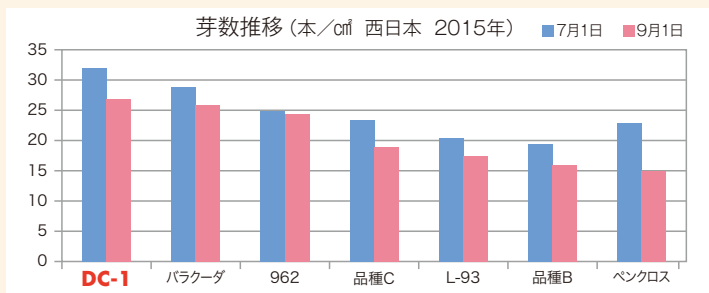


3 日本特有の高温多湿の気候に適応〈暑さに強い〉

夏場の「DC-1」は、高品質なターフ（最高気温35度を記録）



夏場に「DC-1」は25本/cm相当の芽数（密度）を維持（962、バラクーダ同等）

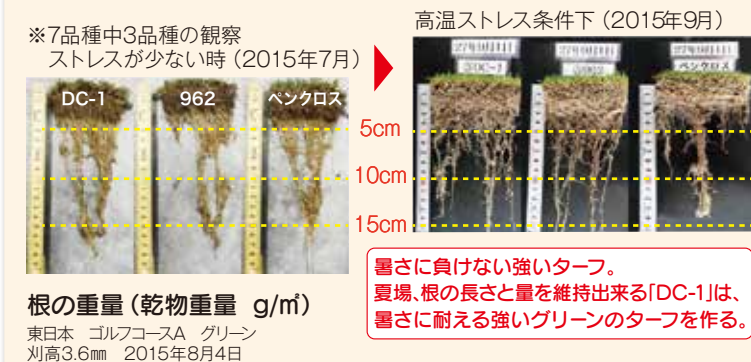


日本特有の厳しい夏の中でも「DC-1」は強さを発揮した。

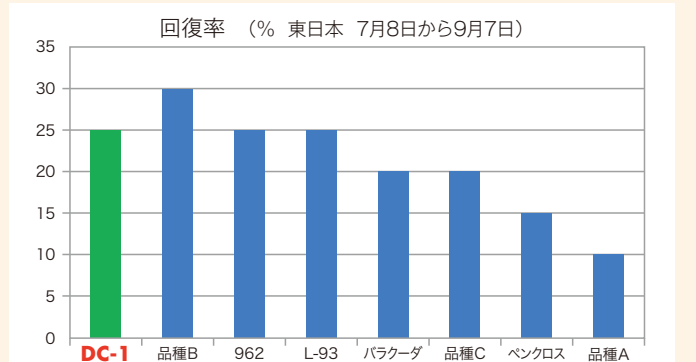
長い年月をかけてラトガース大学が収集しグリーンに適する芝生の品質や生育型、耐病性などに着目して厳選した親株を基に、東洋グリーンが過酷な条件にさらされる試験地を設け選抜を繰り返して作出したのが『DC-1』です。こうして日本での評価選抜の過程を経ることで、本品種を日本国内において栽培したとき、必要とされる特長が最も強く現れるという事が大いに期待されます。まさに日本のゴルフコースに最適化された最新の優良品種と言えます。

4 高温条件下のほふく性に優れる〈優れた回復力〉

根上りしにくいターフ（最高気温35℃を記録）



ほふく成長による優れた回復力

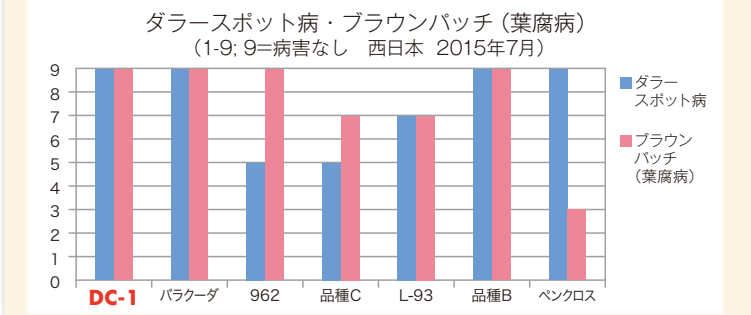


抜き取った部分（直径11cm）の被覆成長の経過観察（東日本）



5 ダラースポット病、ブラウンパッチ、炭疽病などに強い〈病気に強い〉

耐病性評価（ダラースポット病、ブラウンパッチ〈葉腐病〉）



耐病性（ダラースポット病）



6 寒さに負けない緑のターフ〈アントシアンが出にくい〉

アントシアン発生と比較

